

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 10 日

評価対象事業	都政	-	13	大船駅周辺整備事業				☐ 法定受託事務	
所管課	都市政策部 市街地課				評価者	市街地課長 安齊 康広			
一般	会計	款	45	項	20	目	5		
総合計画上の位置付け	分野名	市街地整備			施策の方針名		市街地整備の推進		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本計画（案）」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部、大船駅西口などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。
効果	「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本計画（案）」などに定めた地区の将来像の実現を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	大船駅周辺管理地維持修繕、砂押橋プロムナード桜維持管理業務委託	大船駅周辺管理地維持修繕、砂押橋プロムナード桜維持管理業務委託	大船駅周辺管理地維持修繕、砂押橋プロムナード桜維持管理業務委託
予算額（千円）	1,003	776	
国県支出金			
地方債			
その他	3		
一般財源	1,000	776	0
当初人員配置数	2.4	1.7	0.0
人件費（千円）	13,333	9,866	0
事業実績	大船駅周辺管理地維持修繕、砂押橋プロムナード桜維持管理業務委託		
決算額（千円）	457		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	457	0	0
人員配置実績数	2.4	0.0	0.0
人件費（千円）	12,977	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	松竹通り沿道の企業・店舗・住民等に清掃及び除草活動への参加を呼びかけるチラシの配付数	枚	87	⇒	87		
	実績につながる活動	松竹通りにおいて、地域と市職員が一体となって実施する清掃活動への参加を呼びかけた				300		
活2	指標名	砂押川プロムナードの桜並木の保全再生等への支援の回数（樹木医の指導、枝の伐採等）	回	2	⇒	2		
	実績につながる活動	砂押川プロムナードの桜並木の保全再生等への支援を愛護会に対し行った				474		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	・活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・松竹通り清掃活動及び除草活動には毎回多くの事業者・店舗が参加し、松竹通りの美観の維持に貢献している。 ・砂押川プロムナードは樹木医の指導による適切な処置により、桜並木が保たれている。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	松竹通り維持管理方針に基づき、地域と市職員が一体となって実施した清掃及び除草活動を実施した回数（5年間累計）	回	2	10	2			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	・実績に影響を与えた外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	・松竹通り清掃活動及び除草活動には毎回多くの事業者・店舗が参加し、松竹通りの美観の維持に貢献している。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	・令和6年度から実施した松竹通り清掃活動及び除草活動は多くの沿道店舗や企業に認知されつつある。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→ ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 事業へ統合
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評		・松竹通りについては、沿道の店舗等を巻き込んだ清掃活動等を引き続き行う。 ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく桜並木の保全再生活動については、地元ボランティア団体である砂押川プロムナード桜愛護会への支援を引き続き行う。		
			上位施策への寄与度 B		

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		大船駅周辺におけるまちづくりに関する事業であることから、他市との比較は不可能。							